

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (公園環境美化事業)**

[0908]

部名	建設部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>公園緑地</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・この事業により 市内の雇用を創出する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>老朽化している遊具及び木製ベンチの塗装作業を行うために、ハローワークから人材を確保する条件での委託を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	公園緑地数	箇所		228	228	228
対象指標2						
活動指標1	塗装実施公園緑地数	箇所		49	46	80
活動指標2						
成果指標1	雇用者数	人		4	4	4
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	4,095	6,615	6,816
正職員人件費 (B)		千円	0	1,245	1,209	1,222
総事業費 (A) + (B)		千円	0	5,340	7,824	8,038

費用内訳	
22年度	委託料 6,615千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

公園施設の塗装を行い施設の耐久効果、美化向上が図られ、雇用創出することができる。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

就業機会が一時的に確保できるため。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

一時的であつても雇用が創出できたため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

環境美化につながる事業量を増加させること。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

必要最小限のコストで実施している。